

各 位

会 社 名 株式会社TSIホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 上田谷 真一
 (東証第一部 コード番号 3608)
 問合せ先 取締役 管理本部長 大石 正昭
 T E L 03(6748)0001

第2四半期(累計)の業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成 30 年 4 月 13 日に公表しました平成 31 年 2 月期第 2 四半期(平成 30 年 3 月 1 日～平成 30 年 8 月 31 日)の業績予想と、本日公表の実績において差異が生じたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 平成 31 年 2 月期第 2 四半期連結業績予想数値と実績値との差異について

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	77,000	△500	100	△500	△5.03 円
実 績 値 (B)	75,194	△186	713	△362	△3.70 円
増 減 額 (B-A)	△1,805	313	613	137	—
増 減 率 (%)	△2.3	—	613.6	—	—
(参考)前期第 2 四半期実績	73,831	95	767	△8	△0.08 円

2. 差異の理由

平成 29 年 4 月に更新した中期経営計画に基づき、業務プロセスの改善や低収益部門の構造改革を進めることにより、収益基盤の強化を図る一方で、今後の成長戦略として EC 事業や海外事業等において当社の強味を更に強化するとともに、成長市場への投資にも積極的に取り組んだ結果、売上高は若干予想を下回りました。

全社的な販管費抑制策における効果は持続しているものの、特に成長著しい EC において広告宣伝や事業基盤を強化するなど、当社グループにおける成長戦略投資を積極的に推し進めたため、営業利益は予想を上回りました。また、営業外収益については、受取配当金が当初の見込より増えたため経常利益も予想を上回る結果となりました。

特別損失は、当初の想定よりも構造改革を推進したため当初の見込よりも増えましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益については予想を上回りました。

以 上